



「共に創る」 8 / 25 市教組教研! (土)

暑さが厳しい中、一学期が終わろうとしています。市教組のこの夏のメイン行事は「市教組教研」です。市教組は「教研裁判」で実質勝訴し、2016年度から市教組教研を学校会場で行えるようになりました。今年は南部支部の「やたなか小中一貫校」を会場に開催します。市教組教研では、教科だけではなく、人権と共生の観点からも教研を進めます。

教職員組合は、二つの側面をもった団体です。一つは、働くものの生活や権利をまもるための「労働組合」。もう一つは、日々の実践や研究を交流してよりよい教育を作り上げるための「教育研究団体」。

大阪の教育を守り、発展させるために、一人でも多くの組合員の皆さんが市教組教研に参加されますよう、呼びかけます。

8月25日(土)

やたなか小中一貫校(東住吉区)

近鉄南大阪線矢田駅下車 南西へ約500m

| | | |
|----|-------------|-----|
| 時程 | 13:30~ | 受付 |
| | 14:00~15:30 | 分科会 |
| | 15:45~16:30 | 全体会 |



「仲間とつながる教研」

エネルギー問題と原発事故 福島の現状から

平和教育分科会

福島第一原発事故から7年が経過しました。未だ廃炉への道筋が見えません。事故は核と人間が共存できないことを改めて証明しました。いっこうに進まない廃炉作業と復興事業の中、事故への関心の低下が懸念されています。学校現場で事故の実態と福島の現状をどう伝えていくのかが私たちの課題です。本分科会では、中学校技術家庭科の授業において、エネルギー問題と原発事故の問題を、福島の現状を伝えながら取り組んだ内容を中心に報告します。



自立と共生の教育を 民族学級の取り組みから

在日朝鮮人教育分科会

根強い差別意識や誤った認識による差別の状況は未だ改善されず、広がりを感じるほどです。わたしたちは、この状況に対抗していかなければなりません。民族学級や民族クラブ、国際クラブでの取り組みと、それを支えるクラスでの実践を基盤とし、相互に理解しあい自立と共生をはかる教育が実践できるように、実践交流を中心に組みたいと考えています。



LGBT こんなときどうする? 一緒に考えよう!

ジェンダー平等教育分科会

2016年4月、文部科学省は教職員に向けて、「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」を発表しました。

LGBTの割合は13人に1人とも言われ、特別な存在ではありません。学校にも、性的違和感で苦しんでいる子どもがいます。その悩みにどう応えていくのか、子どもたちにどう伝えていくのか、様々なケースについて、LGBTの当事者で我々の仲間のこいけけいこさんと一緒に考えて行きたいと思っています。



楽しい歌唱指導のための指揮法 合唱コンクールの指導に

特別分科会 (音楽)

2016年度に、楽しく歌唱指導するための工夫、腹式呼吸や発声の指導法などを学びました。

今回は、小学校では歌唱指導に、中学校では合唱コンクールの指揮指導に活かせる指揮法について学びます。

子どもたちが歌うことを楽しく感じ、子どもたちからより良い発声を引き出すために、身振り手振り、顔の表情、息づかいなどの工夫、右手と左手それぞれの役割や使い方を、体験を通して楽しく学びましょう。



「特別の教科道徳」 どう取り組む?

特別分科会 (道徳)

「特別の教科道徳」が小学校では今年度より実施され、来年度から中学校でも始められようとしています。この道徳にどのように取り組んでいくのか、またこれまで私たちが大切にしてきた人権教育をどのようにからませていけるのかということ。「特別な教科道徳」の問題点や課題を明らかにしながら私たちの実践に返していきたいと思います。

また、一番気になるところでもある「評価」についてもどこまで、どのように評価したらよいのかということも考えていきたいです。実践事例や各校の取り組み交流をおこなう中で組合の「教研」でしかできないような分科会にできたらと思っています。



木版画の指導法 安全に楽しく!

特別分科会 (木版画)

昨年度は、紙版画の指導法についての分科会でした。今年度は、彫刻刀を使う木版画の指導法の分科会を開催します。

切り出し刀、三角刀、丸刀など彫刻刀の特徴を生かし、安全に、楽しく制作する秘訣と、刷り方で作品の感じが変えることなどが学べます。紙版画とは違った味わいのある作品ができあがります。2学期以降の図工の実践に必ず役立ちます。彫刻刀を持参。



